大阪府住宅・建築物耐震１０ヵ年戦略プランの概要

戦略プランの基本方針

- ◆ 住民･建物所有者が、自主的に耐震化へ取組むことが基本
- ◆ 府･市町村は、それらの取組みをできる限り支援する観点から耐震化の阻害要因を解消又は軽減する施策を展開

耐震化の現状･目標【9 割】

住　宅【目標 9 割】

現状 (H18)	10 年後 (H27)
総数：352万戸	総数：353万戸
○耐震性を満たす 258万戸 (73%)	○耐震性を満たす 318万戸 (90%)
○耐震性が不十分 94万戸 (27%)	○耐震性が不十分 35万戸 (10%)

木造戸建 116万戸
- ○耐震性を満たす 68万戸 (58%)
- ○耐震性が不十分 48万戸 (42%)

共同住宅等 36万棟
- ○耐震性を満たす 28万棟 (78%)
- ○耐震性が不十分 8万棟 (22%)

《マンション1万棟 (3%)》

27万戸のうち、民間住宅23万戸の耐震化施策が必要
[目標とトレンドの差]

トレンドによる H27の推計値
- ○耐震性を満たす 291万戸 (82%)
- ○耐震性が不十分 62万戸 (18%)

特定建築物（民間）【目標 9 割】

現状 (H18)	10 年後 (H27)
総数：約44，500棟	
○S57以後の建築物 31，000棟 (70%)	○S56以前の建築物 ⇒耐震診断実施
○S56以前の建築物 13，500棟 (30%)	○うち耐震性が不十分 ⇒耐震改修の促進

府有建築物【目標 9 割以上】

現状 (H18)	10 年後 (H27)
総数：約 9，800棟 (小規模な建物を含む) ○S56以前の建築物 約 4，700棟 (小規模な建物を除く) ＊災害時に重要な建築物の耐震化率約 58%	府有建築物耐震化実施方針（平成18年度中に策定予定)に基づき、計画的かつ効率的に耐震化を推進

耐震化の阻害要因

≪危険の認識不足≫
- ○自分は大丈夫と考えている
- ○住宅の耐震性について危険認識がない
- ○家族の状況で認識に差（子育て･受験･高齢者等）

≪耐震化の情報不足≫
- ○誰に相談すればよいか
- ○相談先は信頼できるか
- ○改修のやり方がわからない
- ○助成･融資制度を知らない
- ○改修効果がわからない

≪費用や労力の負担の大きさ≫
- ○費用負担が問題
- ○大掛かりな補強工事に対する抵抗感
- ○工事中の生活の不便さ（引越･仮住居の確保等）

施策の基本的な考え方

- ● 府内すべての住宅･建築物を対象 ⇒ 特に耐震化率の低い木造住宅を中心に総合的な施策を展開
- ● 「生命」と「財産」を守ることを基本 ⇒ 全体の改修が困難な場合、最低限「生命だけは守る」改修等を促進
- ● 住民等の負担軽減に繋がる耐震化 ⇒ 費用等の負担軽減のため、リフォームにあわせた耐震化、大阪の地域特性及び建物の特徴等に応じた改修などを推進

具体的な施策の展開

危険を知る仕組みづくり

1．ハザードマップの作成･公表
- ○ＨＰで公表、市町村とのリンク

2．相談体制の整備･情報提供の充実
- ○身近で気軽に相談できる体制整備（地域相談会の開催、メール相談等）

3．パンフレット等活用、講習会開催など
- ○啓発 DVD･パンフレットの有効活用
- ○府民向講習会やキャンペーンの開催等
- ○出前講座の開催（地元への出張講座）

4．防災教育の普及促進
- ○地域と連携し、総合的な防災教育を実施

安心できる仕組みづくり

1．相談しやすい窓口の整備
- ○身近で気軽に相談できる体制整備

2．安心して耐震改修できる仕組み
- ○「住まいまちづくりマイスター制度」の創設・運用による優良業者の登録･紹介
- ○関係団体の自主的な取組みを奨励
- ○ﾏﾝｼｮﾝ等への相談アドバイザー派遣

3．信頼できる耐震改修工法･手法の普及
- ○住宅の構法に応じた改修設計の普及
- ○信頼できる耐震改修工事の事例をＨＰなどで紹介（工法の特徴、費用、工事期間、問合先等）

経済的な負担を軽減する仕組みづくり

1．耐震化を促進する支援
- ○耐震診断補助の推進
- ○効果的な支援制度の検討

2．ﾘﾌｫｰﾑにあわせた耐震改修の誘導
- ○ﾘﾌｫｰﾑ団体との連携による啓発･誘導

3．経済的な耐震改修等の方策
- ○住宅の構法に応じた改修設計で、より経済的な耐震改修を推進
- ○建物全体の耐震改修が困難な場合は、「生命だけは守る」部分的又は簡易な改修等の促進

地域特性に着目した施策の展開

1．密集市街地における耐震化の取組み
- ○建替及び除却による不燃化促進

2．地域特性に着目した施策の展開
- ○地域の住宅の特徴に即した施策展開

1．地震時の道路閉塞の改善
- ○緊急輸送路等の指定

2．その他、２次構造部材の安全性向上等
- ○ブロック塀やエレベーター等の安全対策
- ○家具の転倒防止、防災ベッドの活用

耐震化が進み、生命と財産が守られる住まいとまち